

誰もが 自分らしく いられるように

先日のニュース、女性への心ない言葉が「ジェンダー不平等」の日本をあぶりだしました。当初、日本のマスコミはこの発言を取り上げず、海外での反響による外電がその一報でした。

「ジェンダー」とは社会的性差のこと。各国の男女格差を比較したジェンダー・ギャップ指数で、日本は世界153カ国中121位。政治参画の分野では144位、女性の平均賃金が男性の74%など、日本の男女不平等があらためてクローズアップされています。

ツイッターデモが拡がり、「自分もわきまえ癖がついていた」「笑う側に回ってしまっていた」という痛みを抱えてきた女性たちが「もう見過ごさない」と声をあげました。

さて、**コロナ禍を乗り越えた社会は**、どうなっているでしょう。元通りになって欲しい、いやそれでいいのかと様々な意見が飛び交っています。大量生産・大量消費、環境破壊は良くないと誰もが思うでしょう。しかし、現実はどうでしょうか。安心安全な暮らしのために、他人を責めるようなことになったり、情報に一

喜一憂したり。弱くて悲しい存在だなあとため 息も出ます。

子どもたちはどうでしょう。小さなマスクを つけて、歩いています。笑って、遊んでいま す。今の世がその目にはどう映っているのでし ょうか。その小さな胸の中にコロナはどのよう な影を落としているでしょうか。屈託なく大き な声で話し、駆け回り「子どもらしく」過ごせな い今は、子どもらしくないのでしょうか。言葉に できない子どもたちの声を聞いてみましょう。

私たち、大人もかくあるべきという「らしさ」 にとらわれず、自由に考え、行動したいもので す。世界は広く多様性に富んでいます。子ど もたちと共に「知らないことだらけ」と未 知の世界にわくわくしながら進みましょう。 (千佳子)





※ホームページでも紹介しています。「みやがわ書店」で検索するか下のQRコードで

えほんと童話の店みやがわ書店

〒519-0505 三重県伊勢市小俣町本町163(JR宮川駅前) 電話・FAX 0596-22-4317 Eメール ehonbaba@gmail.com 定休日 毎週日曜日・木曜日 営業時間 AM10:00~PM6:00 ホームページ https://www.miyagawaehon.com







子育での場だまり

絵本は子育ての日常にそっと陽だまりを作ってくれます。子どもが生まれたら一緒に本が読みたい。本を通してたくさんの世界を知ってほしい。そんな思いで子どもたちと本を読んでました。何度も何度も繰り返し読んだ絵本には、それぞれに思い出があります。

娘に弟ができたときに読んだ<mark>鈴木永子さんの「ちょっとだけ」。</mark>弟ができた姉の頑 張る気持ちと切ない気持ちに娘を重ね、涙が 出ました。

長男が夢中になった中川ひろたかさんの「つみき」。積み上げられた積み木がゆらゆら揺れて、てんとう虫が飛び立つと音を立てて崩れる場面。この単純な場面をケタケタ 笑う息子の姿が見たくて、何度読んだかわかりません。

そして「100かいだてのいえ」シリーズに夢中になった次男。1つひとつの部屋の細部まで見て進むので、なかなか100階にたどり着きません。

私が幼い頃大好きだった「もりのかくれん ぼう」と「はじめてのおつかい」。これを子ども たちと共有できたことも幸せな時間でした。

今、子どもたちは中学生や小学生になり、 読む本も変わってきましたが、本を通した新 しい世界との出会いを大切にしてほしいと 思っています。たくさんの本と出会わせてくだ さったみやがわ書店は、私の3人の子育ての 中で、いつも陽だまりの場所です。みやがわ 書店に行くたびに温かい気持ちに包まれま す。橋村さんのエネルギッシュな熱量に元気 をもらいます。何かについて考えたくなる好 奇心を持たせてもらいます。仕事ばかりが気 になり、普段の生活が雑になっている自分を 整えたくなります。

本との出会い、人との出会い、この温かい空間が愛おしいです。

中西麻実



B	月	火	水	*	金	±
	1	2 おはなし会	紙芝居 3 ピッポの会 ミニ講座	4 定休日	5	6
7 定休日	8	大人の 9 ための 絵本の時間	10	11 定休日	12	13
14 定休日	15	16 おはなし会原由展議終日	17	18 定休日	19	20
21 定休日	22	23	24	25 定休日	26	27 おはなし会
28 定休日	29	30	31			

おはなし会

2日(火) 11:00~ 16日(火) 11:00~ 27日(土) 14:00~

大人のための絵本の時間

9日(火) 10:30~ 紙芝居ピッポの会ミニ講座

3日(水) 10:00~

大好評!

ワンコインで 『松本春野お話会の動画 編集版』ご視聴いただけます

視聴申込はお店かホームページで



「クマとこぐまのコンサート」「ひびけわたしのうたごえ」 作 デイビット

・リッチフィールド 訳 俵万智 ポプラ社 1.540円(税込)

シリーズ3作目。年をとったク マのブラウンが楽団を引退し て、ふるさとに戻ってきまし た。パパになったブラウンは もう音楽のことは忘れようと していました。



カロライン・ウッドワード 文 ジュリー・モースタッド 絵 むらおか みえ 訳 福音館書店 1.760円(税込)

早朝の、暗くて長い通学路を 一人で歩く少女。その不安を 吹き飛ばすためには・・。訳者の 村岡美枝さんの言葉(『あのね 2月号 乗り越える勇気、見守 る勇気』)と共に、ぜひ親子で。



新刊紹介



「ぱくぱく はんぶん」 渡辺 鉄太 ぶん 南 伸坊 え 福音館書店 990円 (税込)

「半分残しておいてね」と、おばあ さん。みんなは大きなケーキを半 分ずつ食べました。おばあさんの 言葉どおりのはずが…「言葉」と 「実際」のへだたりに笑ってしまい ます。



たむら しげる 偕成社 1,540円 (税込)

こびとのニコさんとロボットのダ ダくんが大きなキャンドルを馬 車で運んでいます。

ふねでたまごが、汽車でシュガ ーが、他にもいろいろ運ばれて いく…。いったい何があるので しょう。



「かなしみの ぼうけん」 近藤 薫美子 ポプラ社 1,650円 (税込)

「きょうキャンディがしんだ」 悲しくてどうしようもない気 持ち。

でも、「わすれないかぎり… いつしょにいきてる」

そう感じるまでの心の様子を 絵と擬音語だけで表現して いきます。

絵のなかに何がみえますか?

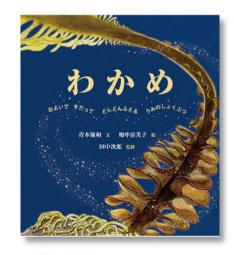


「地球のことをおしえてあげる」 ソフィー・ブラッコール 横山 和江 訳 すずき出版 1.760円(税込)

宇宙から遊びに来る誰かの ために、「地球」のことをどう やって説明しますか?少年ク インがお話しします。他にも まだまだたくさん説明できそ うです。しかし、「地球」を説 明するには、まだまだ私たち の知らないこともたくさんあ りそうです。

FIRST DADAS

大人コース



「わかめし 青木優和 文 畑中富美子 絵 田中次郎 監修 仮説社 1,980円(税込)

お味噌汁でおなじみのわかめ。 栄養たっぷりなのに、いまいち主役 ではない。そんなわかめはどうやっ て生まれてきて、どんな環境で育っ てきたのでしょう。

私たちが見ることの出来ない海の 底.。ミクロな世界で繰り広げられる 生命の不思議。私たちの知らない遠 い昔から、わかめは人々の暮らしの 中で共にありました。

りょうしさんの手で丁寧にかりとら れて私たちの元に届きます。あとは わかめの美味しさをそれぞれのご 家庭で…。

調理法もサポート。わかめを多角 的に詳しく知る豪華な一冊!

(さつき)



[もしかして…] 作 クリス・ホートン 訳 木坂 涼 BL出版 1,760円(稅込)

斬新なデザイ ン、独特な色づ かいが人気のク リス・ホートンの 絵本。

व

वं

今回は迫力ある 赤い画面の中 で、3びきの子ザ ルたちがチョロ チョロと動き回り ます。

こまった子ザル たちにハラハラ! だけど、とっても 可愛いのです。



「てんから おだんご 12場面 脚本 高橋五山 金沢佑光 童心社 1,980円 (税込)

たっぷりと春の光を感じる幻想的な紙芝居です。春 のお彼岸用と、秋のお彼岸用の二通りの読み方がで きます。